

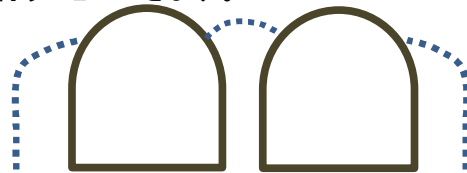
## ピーマンのタバコガ類防除のためのネット全面展張方式の実用化

【研究のポイント】

タバコガ類はピーマン果実を食害する重要害虫です。これまでの農業を主体とした防除対策では効果が不十分であったため、防虫ネットを展張する方法を検討した結果、ほぼ完全に被害を防げることが明らかになりました。県内最大の産地である豊後大野市の間口3mハウスでは、サイド・谷分離方式によるネット被覆(下図)が実用化され、現在約75%で利用されています。

今回は、もう一つの産地である臼杵市野津町の間口1.8mハウスにおいて実用的な全面展張方式の研究を行いました。

防虫ネットを利用することで、農業散布回数を削減し、より安全・安心な大分ピーマンの生産を行うことができます。



3mハウスの分離型展張方式

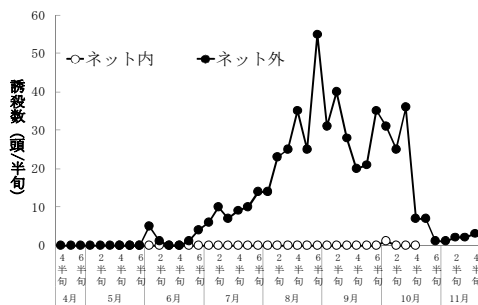


1.8mハウスの全面展張方式

【研究の成果】

＜成果のポイント＞

- ①タバコガ類をほぼ完全にシャットアウトすることができ、防除効果が高いことがわかりました(下図)。
- ②従来の4×4mmでなく6×6mmネットでも同等の防除効果がありコストが下がりました。
- ③約10%の遮光効果があり、ハウス内温度が下がり、収量性にも影響ありませんでした。
- ④展張補助資材も含めて最終的には10a当たり約25万円と低コストで実施されました。
- ⑤設置時間は10a当たり約12時間です。



フェロモントラップによる  
タバコガ類雄成虫捕殺数 (H25)



タバコガの被害

＜生産現場への普及＞

現在、1.8mハウスが主体の臼杵市野津町で全面展張方式のネット被覆を推進していますが、普及はこれからです。

【生産者の声】

全面展張方式が改良され実用化段階になったことが今年の現地実証でわかりました。  
タバコガ類の防除回数がかなり減り、被害果の選果も楽になりました。是非野津の他の農家の方にも勧めてください。  
(臼杵市野津町 東 啓一郎氏)



【連絡先】

担当: 農林水産研究指導センター 農業研究部 トマト・ピーマンチーム  
TEL : 0974-28-2081  
住所: 大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8